

令和4年度 箱根町町政モニター第5・6回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ
箱根町の景観形成について

○ 調査理由

町の景観形成について、町政モニターの皆様が、現状、どのように考えているのか、居住している建築物の改修(塗り替え)や周囲の状況に関すること、行政の施策に対する認知度、その他ご意見等を把握し、今後の町の景観形成のあり方を検討するため、アンケート調査を

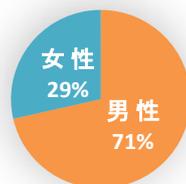
○ 回答期間
令和5年3月16日(木)から3月31日(金)まで

○ 対象者
箱根町町政モニター 70人

○ 回答者数(回答率)
21人(30.0%)

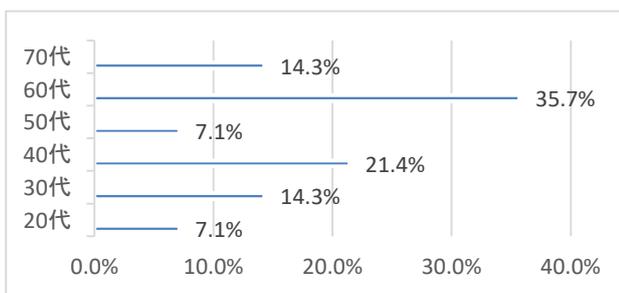
○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	15	71.4%
女性	6	28.6%
合計	21	100.0%



■ 男性 ■ 女性

年齢	回答者数	割合
20代	1	7.1%
30代	4	14.3%
40代	3	21.4%
50代	4	7.1%
60代	6	35.7%
70代	3	14.3%
合計	21	100.0%



○現在の住宅とその周囲の状況について(質問[1]~[5-2])

住宅を自己所有している人のうち、塗り替えを「実施したことがある」と回答した人の割合は28.6%で、住宅を自己所有していない人も含める全回答者の19.0%と1/5以下であり、住宅の塗り替えの経験がある人は決して多くないことが分かります。

現在の住宅や、周囲の建築物の外壁や屋根の色が地域に調和しているかという問については、61.9%の人が好意的に捉えており、普通を含めると90.5%の人が支障のないものと認識していることが分かります。具体的にも「自然と調和したナチュラルカラーの外壁が多いように思う」という回答の様に、箱根の林間にふさわしい建築物を当初から計画されていることが考えられます。色彩としては、山や森を連想させる緑色や、大地の色である茶色を使用した建築物が調和しているという評価がありました。一方で塗り替えの際には元の色に塗り替える割合が高く、このことは先のとおり当初から周囲に配慮した色彩を採用したことが伺えます。

○行政の施策の認知度について(質問[6],[6-2],[17])

箱根町景観条例の施行の認知度は71.4%と一定水準以上のものですが、建築物の改修(塗り替え)の際に色彩の制限があることに関する認知度は46.7%と過半以下であり、今後の周知等の検討が必要であると考えられます。

景観条例以外の他の景観に関する行政施策については、「自然公園法に基づく許可・届出制度」が全回答者の42.8%と認知されているものの、それ以外の施策の認知度は決して高くなく、今後の周知が待たれます。

○町の景観に関する印象について(質問[7][11-1]~[16-2][18])

町の景観に関する現在の印象は、どの景観要素に関しても概ね肯定的な評価ですが、以前(5~10年前程度)と比べた印象では、肯定的な評価が減少傾向となりました。特に「住宅地や別荘地の景観について」は現時点での評価は65.0%が肯定的であるものの、以前と比べると否定的な評価が53.9%であることから、良好な景観が保てているとは言い難く、住宅地や別荘地の景観形成を図る取り組みが必要であると考えられます。

箱根町らしさを連想する色に関する問については、自然景観の緑色や茶色をあげる人が多い中で、登山鉄道や湯本のあじさい橋の赤色を積極的にあげる意見がありました。

○総論

今回の調査では、町政モニターの皆様が町の景観形成についてどのように考えているのか、居住している建築物や周囲の状況に関する事、また景観に関する行政施策等についてお伺いさせていただきました。

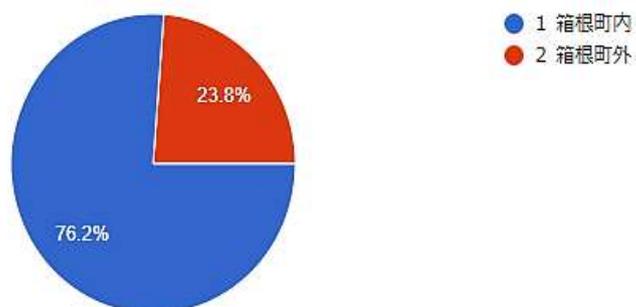
調査結果としては、現在の箱根町の景観について好意的に捉える人が多くいる一方で、景観に関する行政施策の周知と推進の取り組みがより一層、必要であることが分かりました。

今回の結果を参考とし、今後の町の景観形成のあり方や周知方法等について検討していきます。

3 アンケート集計結果

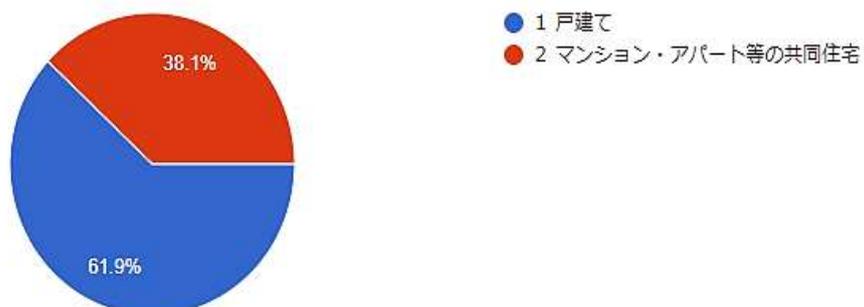
【1】現在のお住まいはどちらですか

21 件の回答



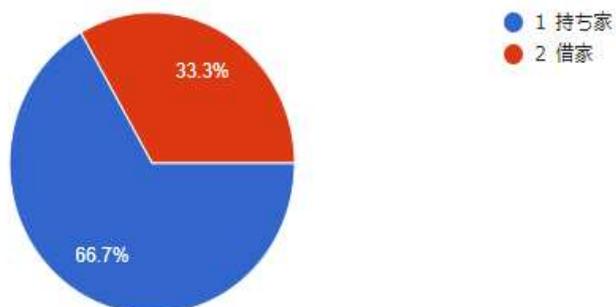
【2】現在のお住まいの住宅の形態はどちらですか

21 件の回答



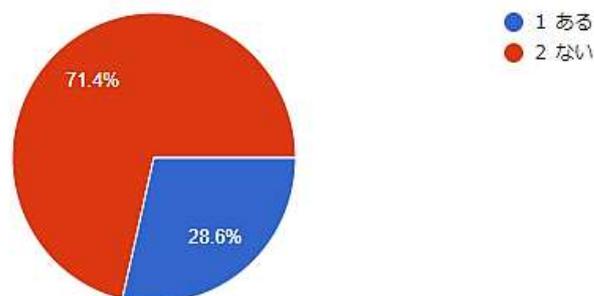
【3】現在のお住まいの住宅の所有状況はどちらですか

21 件の回答



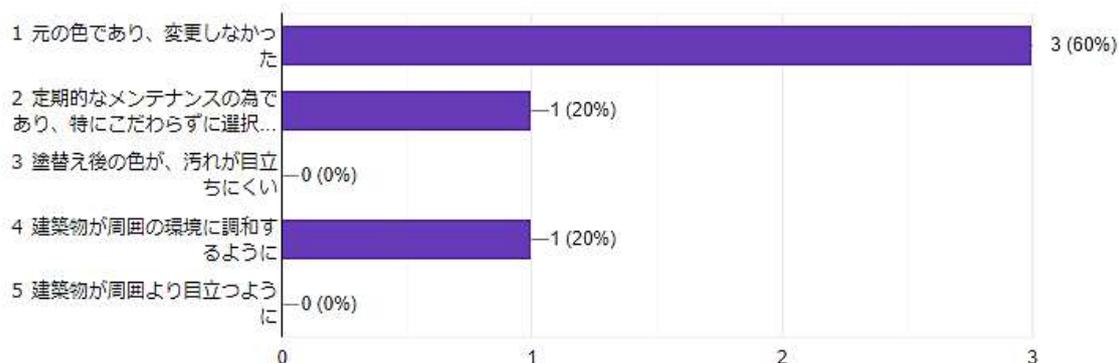
【4】問3で「1 持ち家」と回答した方に伺います。現在お住まいの住宅の外壁の塗り替えを実施したことはありますか。

14件の回答



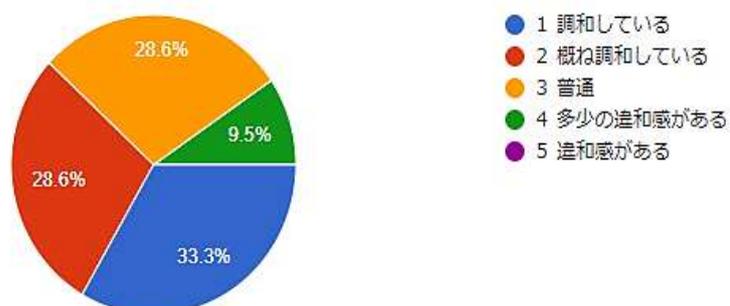
【4-2】問4で「1 ある」と回答した方に伺います。外壁や屋根の塗り替えの際に選択した色の理由を教えてください。（複数回答可）

5件の回答



【5】現在のお住まいの住宅や、周囲にある建築物の外壁や屋根の色は、地域に調和していると感じますか。

21件の回答



【5-2】問5で「1 調和している」「2 概ね調和している」と回答した方に伺います。調和していると感じる具体的な点があれば記述してください。

11件の回答

屏風山のふもとに住むものです

自然と調和したナチュラルカラーの外壁が多いように思う

私が所有しているマンションは周囲を森に囲まれています。森の緑や土の茶色とマンションの外壁に張られている茶色のタイルの色はとても調和していると感じます。

奇抜な色ではないから

落ち着いた、日本家屋風の色合いなので、周囲の山の景色にマッチしていると思っています。

森に溶け込んだ落ち着いた色調の家が多い。

山間部の自然に相応しい色合いです。

外壁はグリーン系のカラーにしている。

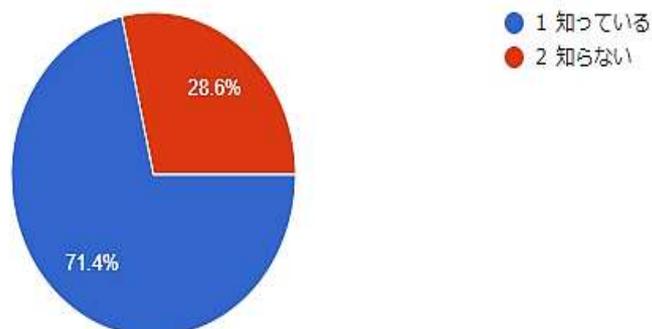
ブラウンだから

新興住宅地で現代の外壁で作ります近いような物件です

別荘分譲地に終の棲家を建てた。緑の中で違和感ない色彩の建物と思っている。

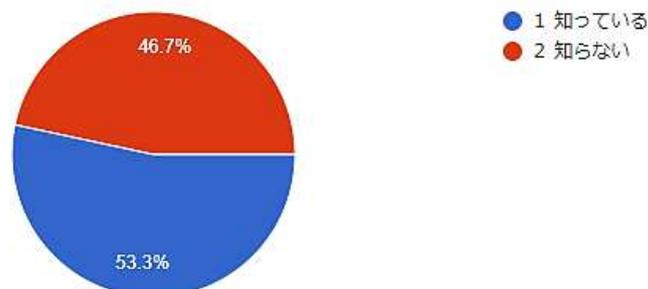
【6】箱根町景観条例が施行されているのを知っていますか。

21件の回答



【6-2】問6で「1 知っている」と回答した方に伺います。箱根景観条例に基づく景観計画において、建築物の外壁や屋根の塗り替えの際に選択できる色の範囲が限られていることを知っていますか。

15 件の回答



【7】箱根町らしい色といえば何を連想しますか。自然や風景、構造物、建築物などの具体的なものを示して、記述してください。（例：出山の鉄橋の緑色、新緑の仙石原すすき草原）

19 件の回答

全体をまんべんなく紹介するよりも、今回のようにいくつかをピックアップする内容が良いと思いました。

ローソンショップの茶色は意識しているのがわかりいいですね。
外壁は明るい色は目立つので、暗めの緑や茶色、濃いグレー、かなり濃い赤茶までが限界でしょうか。
黒に近い青も可能かもしれません。

登山電車の赤

自然の景観 : 緑、茶色、赤
空 : 青
富士屋ホテル: 薄い茶色、屋根の緑、白
箱根の関所 : 黒

山の緑/空の青/湖の青/噴煙の白です。
箱根町のバスターの色は、街を表す色だと思います。

自然の色 緑や茶色など

大地の土色 = 焦げ茶色。森林の濃緑色。

緑や箱根登山鉄道の赤

外輪山などの山並みの緑色

箱根は自然豊かなので新緑をイメージ出来る緑色系です。

森に溶け込む黒や茶、緑。

原色ではない自然の色合い。

外壁はグリーン系のカラーにしている。

ブラウン

自然豊かな緑

今の時期で言えば山々の春の芽吹き

夏には蒸せるような青々

秋には哀愁ある濃い紅葉

冬には自然の中に寂しくもある木々の生き様

国立公園の緑色

春の宮城野早川堤の桜

春と秋の仙石原の野焼き

箱根湯本の赤のあじさい橋

甘酒茶屋

箱根と言えば、赤

箱根の山の、特に春の山桜色と新緑や秋の紅葉。

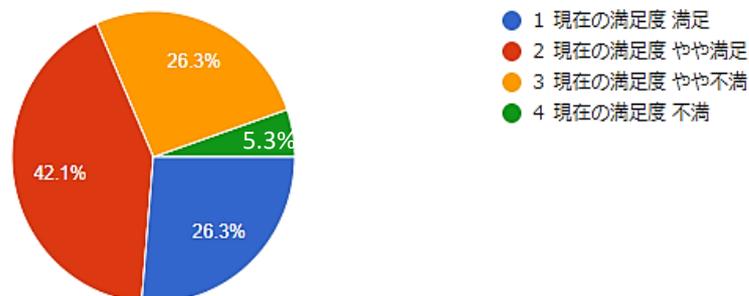
茶色、渋いイメージがある。

もしくは、緑や山吹色など、自然を連想する色のイメージがあります。

【11-1】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。現在の満足度（1～4）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【山なみ、森林の景観について】

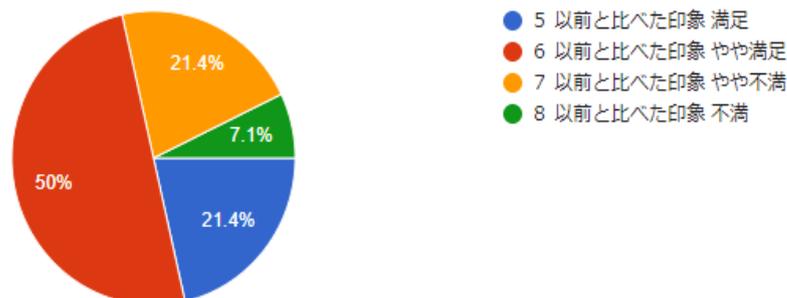
19件の回答



【11-2】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。以前と比べた印象（5～8）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【山なみ、森林の景観について】

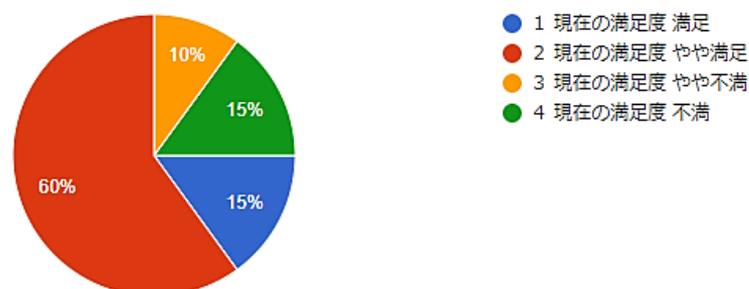
14件の回答



【12-1】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。現在の満足度（1～4）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【芦ノ湖周辺の景観について】

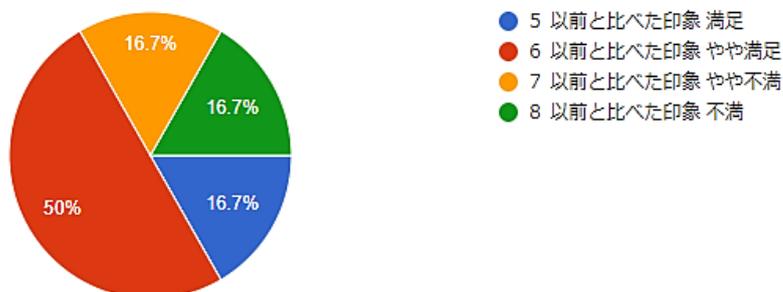
20件の回答



【12-2】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。以前と比べた印象（5～8）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【芦ノ湖周辺の景観について】

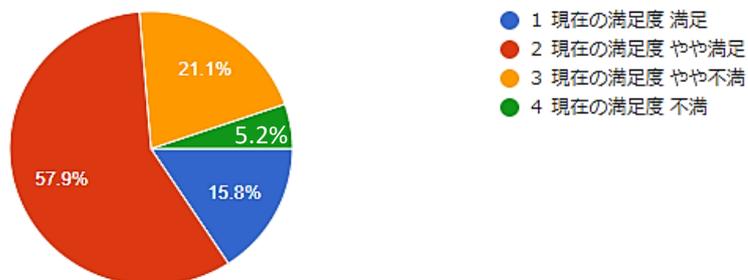
12 件の回答



【13-1】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。現在の満足度（1～4）、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【早川や須雲川の沿道の景観について】

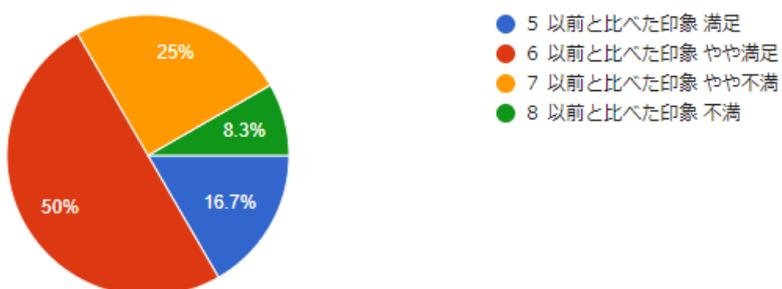
19 件の回答



【13-2】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。以前と比べた印象（5～8）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【早川や須雲川の沿道の景観について】

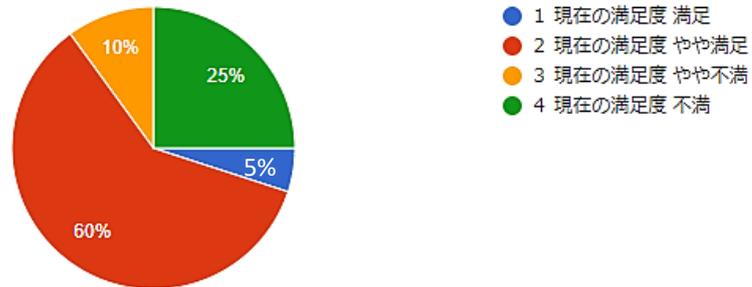
12 件の回答



【14-1】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。現在の満足度（1～4）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【駅や商業地の景観について】

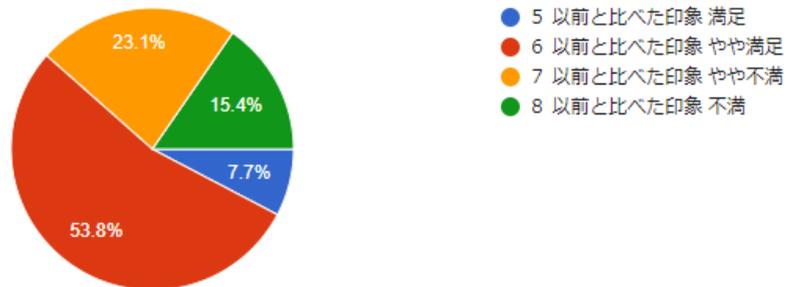
20 件の回答



【14-2】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。以前と比べた印象（5～8）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【駅や商業地の景観について】

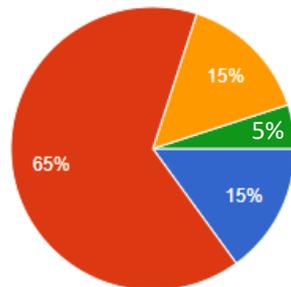
13 件の回答



【15-1】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。現在の満足度（1～4）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【公共施設や美術館周辺の景観について】

20 件の回答

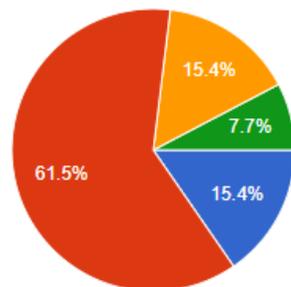


- 1 現在の満足度 満足
- 2 現在の満足度 やや満足
- 3 現在の満足度 やや不満
- 4 現在の満足度 不満

【15-2】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。以前と比べた印象（5～8）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【公共施設や美術館周辺の景観について】

13 件の回答

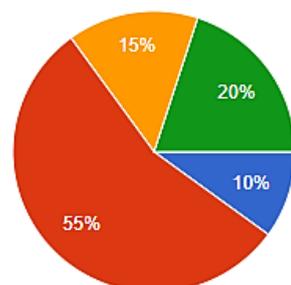


- 5 以前と比べた印象 満足
- 6 以前と比べた印象 やや満足
- 7 以前と比べた印象 やや不満
- 8 以前と比べた印象 不満

【16-1】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。現在の満足度（1～4）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

【住宅地や別荘地の景観について】

20 件の回答

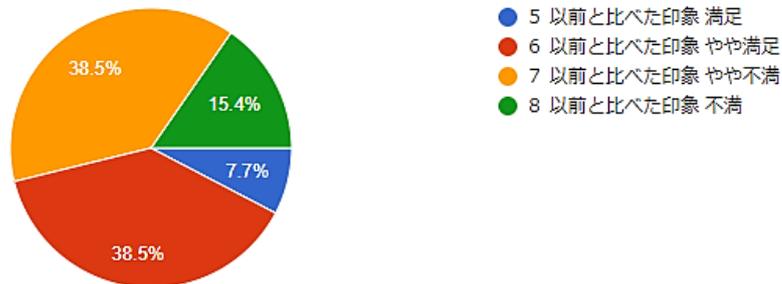


- 1 現在の満足度 満足
- 2 現在の満足度 やや満足
- 3 現在の満足度 やや不満
- 4 現在の満足度 不満

【16-2】箱根町の景観について、現在の満足度や、以前（5～10年前程度）と比べた印象についてどのように感じていますか。以前と比べた印象（5～8）それぞれあてはまる番号を1つずつ選んでください。

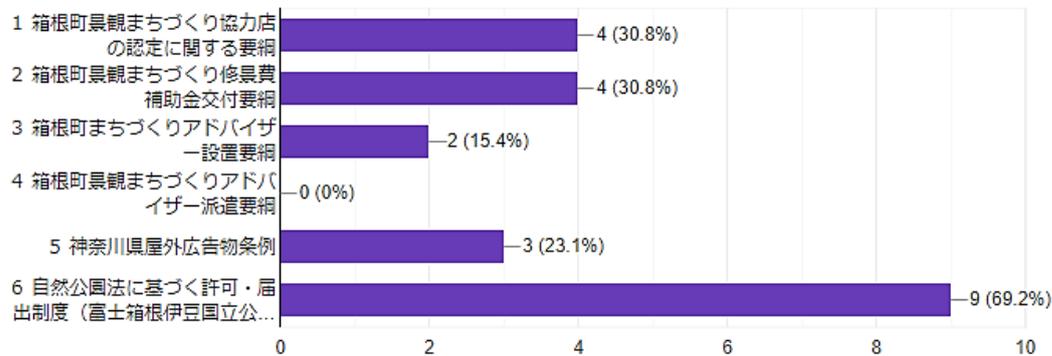
【住宅地や別荘地の景観について】

13件の回答



【17】箱根町内における景観等に関する取り組みについて、知っているものを選択してください。

13件の回答



【18】町の景観に関する事について、ご意見があれば記入してください。

16件の回答

箱根町にとって皆さんが最も楽しみにしているのは芦ノ湖の風景、そこから見える富士山、周辺の箱根神社とします。

この範囲の建造物の外壁だけでなくポート（脚漕ぎのスワンポート含め）が最も目立ちますので、どうか色の規制をぜひよろしくお願いいたします。逆に海賊船は芦ノ湖にあってはどうかは別ですが、色としては目立たず、問題ないと感じます。

どうかぜひご検討よろしくお願いいたします。

景観ではないが、三枚橋から下流も遊歩道を整備してほしい。

以下の点について改善が必要だと感じます。

廃屋になった建物がところどころに放置されている

須雲川や早川のところどころにパイプがむき出しで放置されている

- ・コンビニの色の統制はできていない。何故セブンイレブンは、景観を無視するのですか？
 - ・リゾートマンションの外壁の色は、バラバラ
 - ・湯本の商店街の営業日も統一されていないので、数店舗だけはシャッターが閉まっている。
 - ・（改善されると思うのですが）旧湯本の消防署は、廃屋のようです。
- ◇きれいに整った街並みとはなっていない。バラバラの印象ですね。

箱根町に限らずこの観光地もそうだが、商業施設が和風と洋風が混在しており観光地の価値を落としている。

箱根町は江戸時代から続く歴史ある温泉地であるから、和風で統一感ある街並みを作ればよいと思う。イメージとしては、幕末あたりに撮影された芦ノ湖付近の東海道の街並みくらい統一感が欲しい。

看板が多すぎ

強羅駅の商業地域に、景観を台無しにするびっくりするような色合いの建物がありますが、条例に強制力がないためにそのまま許されてしまっていることが非常に残念です。通りかかってみるたびに箱根町の美的感覚を疑われてしまう恥ずかしさを禁じ得ません。景観を守る規制を徹底するべきです。

基本的には満足していますし、景観を守る努力もされています。一部、廃業したあと朽ちたままになっている建物がずっと残っているのが気になってはいます。

住宅街にホテルが出来たりして景観が悪化している。公共施設などは古びていて、なんかさびれた観光地のように見える。他県各地でもさびれた感じの観光地が増えて来てるので、箱根はそのようなイメージにはなって欲しくないです。

景観として、あまりピンとくるものがないが、全体的に古びたメンテナンス面が、行き届かない状態の建物が、存在しているのを、見かけるたびに、強羅の周辺は、本当にリッチな方達が、満足できて、観光に来られているのか不思議です。使われてない建物、古くなっている建物などが、多く、活気ない強羅駅から離れている建物が多く見られます。あと、道路など、センターラインが消えていると、町でできることはないのかな？と。

あと、箱根湯本に小田原から走ると、ガードレールに飛脚みたいな人間のモニュメントが、いつも、汚れていてなんだか悲しい気持ちになるのは、私だけでしょうか？

横断歩道に信号がないので渋滞する。道路に違法駐車が多い。駅前駐車場が少ない

街並みだけでなく、自然環境の景観についても取り組みを勤めて欲しい。

別荘分譲地の街区内で景観破壊区域があり、敷地所有者が所有権を取得した2012年に堆積が始まり、「他所にも同様の問題があるので今回をモデルケースとし、撤去に成功すれば他の例にも適用できる」と2017年当時の国・県・町3者での対応の意気込みはあったものの、各担当者は次々と変わり、一向に片付きません。

確認申請しないまま敷地の奥には建物も建築され、熱海の土石流の原因の盛土のように、なし崩し的な所有者のやりたい放題になるのであろうかと危惧していたところ、2021年になり、富士箱根伊豆国立公園管理事務所の担当者と連絡が取れ、「2年ほど前まで土地所有者に定期的に指導を行っておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの影響でこの2年間対面での指導がなかなかできない状況にあったところですが、このままで良いはずありませんので、先日所有者立会いの下で、再度これからの撤去の方針や計画を確認しました。廃棄物の撤去に際し、一部支障となっているものがありますので、その支障物の撤去工事を先に行い、支障がなくなった部分から順次撤去を開始するというので、所有者に確認したところです。専門業者によれば、支障物の撤去工事には2、3ヶ月かかる見込みとのこと。引き続き景観が改善するよう指導してまいります。」と連絡が取れたものの、「9月頃所有者から撤去を開始すると連絡があったが、所有者本人が作業しているようで、1ヶ月程度では終わらないかもしれないということのようでした。」との連絡以降、指導は継続しているとだけの連絡になりました。